

オフセット用原稿用紙有償頒布について

講演大会における講演前刷原稿は、所定のオフセット用原稿用紙を用いお書きいただいておりますが、下記により有償頒布いたしますのでお知らせいたします。

講演申し込みは別掲のごとく前刷原稿を同時に提出することになっておりますので、講演発表ご希望の方は締切日より 20 日以上余裕をもつて購入手続をとられるようお願いいたします。

記

1. 頒布料金 1 枚 5 円

(頒布の枚数は下記のとおり限定いたします。なお料金は送料込み)

5 枚 60円, 20枚 165円, 40枚 400円
10枚 95円, 25枚 210円, 50枚 450円
15枚 130円, 30枚 245円

100 枚以上は小包となりますので係までお問い合わせ下さい。

2. 申込方法 ①オフセット用原稿用紙, ②枚数, ③送付先明記のうえ, ④料金(切手でも可)を添えお申し込み下さい。

3. 申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会 編集課 オフセット用原稿用紙係宛 (〒番号 100)

第 3 回西山記念技術講座開催のお知らせ

— 昭和 44 年 2 月 25・26 日 —

本会では鉄鋼の製造、研究に従事する技術者を対象に、鉄鋼技術に関する最近の動向、将来の問題などについて、それぞれの権威者からご講演を願い、討論を行なうため、昭和 40 年より「技術講座」の名称で講習会を開催してまいりましたが、本年 8 月より「西山記念技術講座」と改称、川崎製鉄(株)前会長故西山弥太郎氏記念のため当協会へ寄贈された資金により運営いたしております。

第 3 回は「金属材料の疲労」をテーマに取り上げ、下記のプログラムにより開催いたします。多数ご来聴下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 期 日 昭和 44 年 2 月 25 日(火), 26 日(水)

2. 会 場 農協ホール(9 階)(東京都千代田区大手町1-5) (国電東京駅丸の内北口下車徒歩約10分 農協ビル9 階) (地下鉄丸の内線・東西線大手町下車)

3. プログラム — 金属材料の疲労 —

第 1 日(2 月 25 日(火) 9:30~15:30)

9:30 金属材料の疲労現象に関する最近の諸問題

東北大学 横堀 武夫君

13:00 疲労損傷について

電気通信大学 田中 栄君

第 2 日(2 月 26 日(水) 9:30~15:30)

9:00 腐食性環境と疲労強度

東京大学 北川 英夫君

13:00 疲労試験における実験計画法

東京工業大学 吉本 勇君

4. 聴講無料 事前のお申し込みは不要です。

5. テキスト代 1000円

別刷(各講師分) 1 部 300 円

— 技術講座テープ貸出について —

本会にて技術講座の講演をテープにおさめ第 11 回技術講座より貸出しておりますので広くご利用下さいますようご案内いたします。

1. 講演テーマ

技術講座

第 11 回 鋼の高温強度特性

第 12 回 鉄鋼業における電子計算機の応用

第 13 回 鋼の強靱化

西山記念技術講座

第 1 回 鉄鋼製錬の基礎

第 2 回 溶鉄・滓溶の物性

2. 貸出期間 1 回につき 1 週間以内とする

3. 貸出料金 無料 (送料実費)

4. 申込先 社団法人 日本鉄鋼協会 編集課

東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階 (〒番号 100)

電話 (03) 279-6021

なお、テキストをご希望の方は別添「最近刊行物案内」をご参照下さい。

— 特 別 報 告 書 —

「わが国における最近の分塊技術の進歩」刊行のお知らせ

日本鉄鋼協会共同研究会鋼板部会分塊分科会報告

弊会では日本鉄鋼協会共同研究会鋼板部会分塊分科会報告書「わが国における最近の分塊技術の進歩」を 8 月発行いたしました。

ご承知のとおり、分塊工場の機能は、一貫鉄鋼製造工程において、製鋼工場と成品圧延工場の間に位し、工程管理的には、両者間の緩衝作用をなし、また品質的には成品圧延で要求される諸条件を備えた材料を供給するという、きわめて重要、かつ不可欠のものであります。

本書は、分塊における最近の技術、進歩を主体に編集したもので、わが国分塊技術の現状を総合的に把握し、将来の技術向上、専門知識の修得、また社内教育のためにも貴重な資料であります。購読ご希望の方は下記によりお申し込み下さい。

なお、本書は限定版でございますので早日にお申し込み下さいますようご案内いたします。

記

書 名 「わが国における最近の分塊技術の進歩」 (B 5 版 272 ページ 上製本)

価 格 会 員 1900 円 非会員 2400 円 (送料不要)

申込方法 所要部数、送り先、氏名を記し、代金を添え現金書留にてお申し込み下さい。

申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階

日本鉄鋼協会 編集課 (〒番号 100)

「最近のステンレス鋼」講習会テキスト案内

本会東海支部主催で標記講習会が 11 月 28 日、29 日の両日開催されましたが、テキストのみご希望の方に下記により頒布いたしますのでお申し込み下さい。

記

テキスト代金 会員 700 円、非会員 1000 円

申込方法 現金書留にてテキスト送付先および会員、非会員の別を明記のうえ下記へ申込んで下さい。

申込先 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部金属鉄鋼工学教室内

日本鉄鋼協会東海支部講習会係

日本鉄鋼協会 北 陸 支 部 連 合 講 演 会 日本金属学会北信越支部

両支部が連合して下記のごとく講演会を開催いたしますので、講演者を募集します。

1. 講 演 会

日 時 昭和 44 年 1 月 24 日 (金)

場 所 金沢大学教養部 (金沢市丸の内 1 丁目 1)

申込締切 昭和 43 年 12 月 20 日 (葉書にて講演題目, 発表者氏名, 発表者名連記の場合
講演者に○印)

前刷原稿締切 昭和 44 年 1 月 10 日

(概要は 3000 字以内, 講演申込者に対し当方より下敷用紙送付)

申込および原稿送付先 金沢市小立野 2 丁目 40-20 金沢大学工学部機械工学科内
日本金属学会北信越支部宛 (支部長 関 文男)

2. 懇 親 会

同日午後 5 時半より講演会場の教養部集会室にて開催

会費 500 円 (申込締切: 昭和 44 年 1 月 10 日)

3. 工場見学会

日時 昭和 44 年 1 月 25 日 (土)

場所 小松製作所 (石川県小松市)

申込締切 昭和 44 年 1 月 10 日

* 日本金属学会北信越支部は上記の所に変更しました。

第 6 回理工学における同位元素研究発表会

— 論 文 募 集 —

会 期 昭和 44 年 4 月 22 日 (火) ~ 24 日 (木)

会 場 国立教育会館 (東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 3 号, 文部省となり)

共 催 応用物理学会, 日本鉄鋼協会, ほか 41 学協会

発表論文

1. 内容 それぞれの研究分野において, その専門的成果をうるにいたつた同位元素および放射線の利用の技術に重点をおいた論文と, 同位元素, 放射線の利用の基礎となる研究論文とします。なお, えられた専門的成果の報告も差しつかえありません。研究の内容には少なくとも一部に未発表の部分が含まれていること。

2. 発表申込み区分

- ① 放射線照射のための線源および装置に関するもの
- ② 放射線化学その他照射効果に関するもの
- ③ ラジオグラフィに関するもの (装置に関するものを含む)
- ④ オートラジオグラフィに関するもの
- ⑤ 放射線利用計測機器の利用と開発に関するもの
- ⑥ 放射線利用機器に関するもの (エネルギー的利用, 発光塗料なども含む)
- ⑦ トレーサー的利用に関するもの (安定同位元素も含む)
- ⑧ 分析に関するもの (安定同位元素も含む)
- ⑨ 製造, 分離, 精製に関するもの (安定同位元素も含む)
- ⑩ 化合物の合成, 標識化に関するもの (安定同位元素も含む)
- ⑪ 放射線測定法および測定器に関するもの
- ⑫ 安全取扱に関するもの (遮蔽, 施設, 設備, 器具, 健康管理なども含む)
- ⑬ 廃棄物処理, 汚染除去に関するもの
- ⑭ 地球化学・宇宙化学に関するもの (安定同位元素も含む)
- ⑮ その他

3. 発表時間 1 件の発表 15 分以内の予定

発表者の資格 発表申込者が所属する主催学協会の年会 (大会) 等の規定または慣例に従う。

発表申込み 所定の申込書 (1 件 1 通) によりお申し込み下さい。所定の申込書は, 下記あて請求して下さい。

113 東京都文京区本駒込 2 丁目 28 番 45 号 (理研内) 日本放射性同位元素協会内

理工学における同位元素研究発表会運焼委員会 電話 東京 (03) 946 局 7111 番 (代表)

発表申込み締切: 昭和 44 年 1 月 31 日 (金) 必着

講演要旨原稿締切: 昭和 44 年 2 月 28 日 (金) 必着